

## 「ヨセフとベニヤミンの再会」

2021年07月02日

ヨセフは同じ母の子である弟ベニヤミンを見つめ、「この子が話していた末の弟か」と言い、また「子よ、神があなたを恵まれるように」と声をかけた。ヨセフは弟懐かしさに胸が熱くなり、泣きそうになったので、急いで奥の部屋に入って泣いた。(創世記 43 章 29 節～30 節) 料理はヨセフの前から皆のところに配られたが、ベニヤミンの取り分はほかの誰の取り分より五倍多かった。彼らはヨセフと共に飲んで酔いしれた。(創世記 43 章 34 節)

ヨセフの兄弟たちは、地の名産と二倍の銀と返還する銀を携え、末の弟ベニヤミンを連れて、エジプトに下り、エジプトの宰相ヨセフの前に立った。ヨセフは弟ベニヤミンと一緒にいるのを見て、管理者に、「この人たちを屋敷に連れて行きなさい。そして、家畜を屠って食事の支度をしなさい。この人たちと一緒に昼の食事をするからだ」と命じた。兄弟たちはヨセフの屋敷に連れて行かれることは、並々ならぬことだと恐れて、言い合った。「これは、最初の時に私たちの布袋に戻された銀のせいだ。それでここに連れて来られているのだ。私たちを陥れて襲い、ろばと共に捕らえて僕にするためだ。」そこで、管理者に近づき、屋敷の入口で申し開きをした。「失礼ですが、ご主人、前に私たちは食料を買うために下って来たことがあります。ところが、帰りに宿に着いて布袋を開けてみると、めいめいの銀がそれぞれの布袋の口にあったのです。銀の重さは元のままでした。それで、それをお返ししようと持って来ました。食料を買うために、別の銀も持って来ました。私たちの布袋に誰が銀を入れたか分かりません。」管理者は、「安心しなさい。恐れることはありません。あなたがたの神、あなたがたの父なる神が、布袋に宝を隠してあなたがたにくださったのでしょうか。あなたがたの銀は私のところに届いています」と、思いがけない好意的な返答をした。そして、捕らわれていたシメオンを連れて来た。管理者は、彼らをヨセフの屋敷に招き入れ、水を与えて足を洗わせ、ろばにも飼葉を与えた。11人の兄弟は贈り物を用意し、不安と恐怖をもって、宰相ヨセフを待った。

ヨセフが屋敷に戻って来ると、兄弟たちは贈り物を差し出し、ひれ伏した。ヨセフは、「お前たちが話していた年老いた父は元気なのか。まだ生きておられるのか」と安否を尋ねた。彼らは、「あなたの僕である父は元気で、まだ生きております」と、ひざまずいて答えた。この時、ヨセフは40歳を超えていた。年寄り子をもうけた父ヤコブは、相当の高齢になっていた。ヨセフを他の誰よりも愛してくれた父の健在を聞き、喜び、懐かしく、どんなに会いたいと思ったことであろうか。ヨセフは、同じ母ラケルの子ベニヤミンを見つめ、「この子が、話していた末の弟か」と言い、「子よ、神があなたを恵まれるように」と優しい言葉をかけた。二十数年ぶりの再会である。弟懐かしさに胸が熱くなり、泣きそうになったので、奥の部屋で泣き、顔を洗った。出て来たヨセフは心を静めて、「さあ、食事を出しなさい」と命じた。エジプト人はヘブライ人と一緒に食事することを忌み嫌ったので、兄弟たちだけの席が設けられた。すると、兄弟たちは年齢順に座らされた。彼らは、どうして自分たちの年齢を知っているのかと驚き、顔を見合わせた。ヘブライ人が食べられる料理が配られ、ベニヤミンの取り分は他の兄弟より5倍多かった。ヨセフのベニヤミンへの思い入れを形で表したのである。もちろん、不服を言う兄弟はいなかった。12人は食べ、酒に酔いしれた。しかし、ヨセフは兄弟たちをまだ赦したのではなかった。